

(発行所)

大阪狭山市地域ケア会議
介護だより編集委員会

〒589-0005
大阪狭山市狭山一丁目
862番地の5
TEL 072-368-9922

第12号

わ

介護だより

1面 市内小学校で「認知症サポーター養成講座」開催

2～3面 共助・互助を生かす力～制度を超えたサービス～

4面 ・介護体験
・介護者の集い

市内小学校で「認知症サポーター養成講座」開催！

平成二十三年十一月から平成二十四年三月にかけて、市内五カ所の小学校で、『認知症サポーター養成講座』を行いました。

「認知症サポーター」とは、何か特別なことをする人ではなく、認知症の人やその家族を温かい目で見守る「応援者」のことをいいます。

これまででは、主に一般市民の方を対象に行ってきましたが、昨年度から市内の小学校でも実施するようになり、四年生から六年生の計四百十四名の児童が認知症サポーターになりました。

講座の内容は、「年をとるってどういうこと?」「認知症ってどんな病気?」「認知症の人の気持ちって?」「認知症の人に対してみんなができることは?」等、

市内の介護保険事業所のスタッフにも協力していただき、寸劇を交えて小学生にもわかりやすい内容で行いました。

講座を受けた児童からは、「認知症って何だろう?」って思っていたけど、単なる物忘れではないということが分かりました。や「おじいちゃん、おばあちゃんが認知症になったら、優しくしてあげようと思いました」等の感想をいただきました。

これからも小学校や中学校で『認知症サポーター養成講座』を開催していき、子どもの頃から認知症を理解し、偏見や差別のない、認知症になっても安心して暮らせる大阪狭山市をつくらせていきたいと思います。

小学校での「認知症サポーター養成講座」の様子



ヒューマン・ケア事業



① 実施機関

大阪狭山市社会福祉協議会

② 目的

- ・高齢化社会や核家族化に伴う在宅福祉ニーズの多様化、家族機能の低下に対応し、会員制によって、日常生活上の家事等に支障をきたす高齢者や障がい者（児）、母子・父子家庭等に有料で協力会員を派遣し、在宅福祉の向上を図ります。

③ 事業内容

【概要】

日常生活上で家事及び介護等で困っている方々（利用会員）の負担を少しでも和らげるために、地域の人々（協力会員）の参加によって互いに助け合って生活ができるよう支援する、住民参加型（有償ボランティア活動）在宅福祉サービス事業です。

【サービス内容】

家事援助、介護援助、外出介助、入院中のお世話、子ども・産前産後のお世話等
 ※他にも、協力会員さんと話し合い次第で、様々なニーズにお応えできます。一度、ご相談ください。

【活動事例】

- ・介護保険では対応できない場所の掃除もしてほしい。窓や電気のかさ、換気扇や普段使っていない部屋などが気になるけれど自分では出来ないので、定期的に掃除をしてもらっています。
- ・病院の中では一人だと不安。そのため、通院時には付き添ってもらい、安心して診察を受けることができます。
- ・父子家庭では栄養管理が不十分…。主婦の経験があり、料理の得意な協力会員さんにおいしい食事を作ってもらっています。
- ・産後の育児で疲れています。子育てのベテランの協力会員さんに来てもらい、家事、育児を手伝ってもらうだけでなく、育児相談もでき、明るく楽しく育児にはげんでいます。
- ・一人暮らしで、誰とも話さない日もあり、さみしい。週に1日、1時間でも話を聞きに来てくれる方がいるので、元気ができます。

④ 対象者

- ・大阪狭山市在住の方

⑤ 活動時間帯

- ・利用会員と協力会員の話し合いによる

⑥ 費用（利用会員）

- ・年会費／2,100円 利用料金／420円（30分）

⑦ PR

- ・困ったときはお互いさま…。というような自助、互助の精神で活動しています。ご利用希望の方（利用会員）・協力していただける方（協力会員）どちらも常時、会員募集をしています。お気軽にご相談ください。なお、協力会員さんについても年会費が必要です。活動された方には、謝礼をお支払いします。

⑧ 問い合わせ先

- ・大阪狭山市今熊1丁目85番地
 社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会
 TEL 367-1761 ヒューマン・ケア事業担当（阪本・村田）

利用会員さん・協力会員さん

募集中！

共助・互助を生かす力

～制度を超えたサービス～

ご存じですか？

大阪狭山市では、在宅福祉や地域福祉の向上、活性化のために様々なサービスや事業を実施しています。今回はその中でも「シルバー人材センター」と「ヒューマン・ケア事業」を取り上げてみました。「介護保険制度以外で何かサービスはない？」「地域のために何かしたい！」とお考えの方は、是非問い合わせてみてはいかがでしょうか？

大阪狭山市シルバー人材センター



① 実施機関

公益社団法人 大阪狭山市シルバー人材センター

② 目的

- ・定年退職者などの高齢者に、ライフスタイルに合わせた「臨時的・短期的又はその他軽易な就業」を提供するとともに、ボランティア活動等を含めたさまざまな社会参加を通じて、高齢者の生きがいある生活の実現と、地域社会の福祉の向上、活性化に貢献します。

③ 事業内容

- ・地域社会に密着した「臨時的・短期的又はその他軽易な仕事」を一般家庭・事業所・公共団体等から請負又は委任契約により受注し、会員として登録している高齢者の中から適任者を選んで、その会員に仕事を提供します。

④ 対象者

- ・大阪狭山市に在住する60歳以上の健康で働く意欲のある方
- ・シルバー人材センターの趣旨に賛同していただいた方
- ・入会説明会を受け、入会申込書類を提出した方（入会説明会は毎月第二、第四水曜日の午前11時から約1時間程度）

⑤ 費用

- ・会費は年額1,200円（仕事の斡旋料ではありません）

⑥ PR

- ・高齢者のみなさまへ
社会のために、自らのために、あなたの豊かな知識と経験を、活かしてみませんか。
- ・事業所、一般家庭のみなさまへ
施設管理（草刈り、植木の剪定、駐車場の管理など）や事務分野、家事援助などの仕事があれば、お電話ください。（利用料金／1時間800円～）

⑦ 問い合わせ先

- ・大阪狭山市今熊1丁目103-1
公益社団法人 大阪狭山市シルバー人材センター
Tel 366-2277



シリーズ

介護体験⑪

『歯車の』

ひつひつと……

今年の八月に母の十三回忌を迎える。癌の転移が見つかり一年の闘病だった。亡くなる前の数か月は入退院を繰り返し寝たきりの状態になったが、最後は自宅での希望で主治医、同居する姉を中心に在宅介護の生活が始まった。

介護保険が施行された年の春の頃でした。その年の二月、介護の仕事に携わることになったのは今から思えば母の病気がきつかけだったのかも。仕事先で学んだ車椅子介助や体位交換。母は嫌がったがおむつ交換もした。だが、入浴だけは簡単にはできなかつた。ケアマネジャーから訪問入浴の提案があり、実家の住宅事情を考えるとできるの？と疑心暗鬼だったが、簡単にベッドサイドで入浴できた。あの時の母の顔は今でも覚えている。結局、最期は病院のベッドの上だったが、四ヶ月の在宅

介護は、医療と介護と家族の歯車と一緒に回っていた。あれから十二年、現在は家で転倒を繰り返す父の介護が始まった。また歯車が回り始めた。娘として、そして母の時より少しは成長した介護士として歯車のひとつになろう。

『頑張らない介護に賛成』

十七年前、父を母と二人で三年半介護し看取りました。母は六十九才、私は子育て、パート、介護と自分の時間もなくて頑張ったのを思い出します。

母が体調を崩した時は私の肩に全部かかってきました。若さ・体力だけで夢中で乗り切りました。当時、今の様に、介護保険もなく入院中は家政婦を頼んだこともあり。頑固な父は、母頼りの人でした。その母も今年八十九才になります。脳梗塞・圧迫骨折と続き下肢筋力低下で余儀なく車椅子生活となり、現在施設でお世話になっています。

介護保険制度のおかげで、在宅中は信頼できるケアマネさん

やヘルパーさんに助けってもらい、住宅改修や福祉用具も利用させてもらいました。現在フルタイムで仕事ができます。週末も日しか会えませんが楽しみに待っていてくれるので必ず顔を出すようにしています。父の時のように家族で頑張ると介護する者が倒れてしまいます。ぎりぎりまで頑張らないこと、早めに行政等に相談し、信頼できるケアマネジャーについてもらう事をすすめます。心に余裕ができると、自ら優しい気持ちになり笑顔で母に会いに行けています。

編集後記

いつもたくさんのご意見、ご感想を頂きありがとうございます。

今回は、二面目に「ビューマン・ケア事業」、三面目に「シルバー人材センター」を紹介させて頂いていただきました。多くの方が利用されているようです。

皆様も是非利用されてはいかがでしょうか。

また多くのご意見、ご感想をお待ちしております。



ホッと空間～「介護者家族の集い」～

第2回 平成24年9月21日(金)
13:30～15:30

場所：福祉センターさやま荘
内容：栄養ミ二講座・健康ミ二講座
交流会

第3回 平成24年10月15日(月)
13:30～15:30

場所：コミュニティセンター
内容：ピアノコンサート

第4回 平成24年12月7日(金)
13:30～15:30

場所：大阪狭山市役所
内容：介護講座・交流会

第5回 未定

※あくまでも予定ですので、開催日時及び開催場所等、変更の可能性があります。

【お問い合わせ先】

介護者家族の集い事務局
大阪狭山市地域包括支援センター
TEL 072-368-9922
FAX 072-368-9933